

子どもたちの未来を、



はぐくみ、そだてる。



## 「いくしあ」のコンセプトと特徴

「いくしあ」は、児童虐待や不登校、発達障害など、日々の暮らしのなかで課題や困難を抱える子どもたちと子育て家庭に寄り添い、支えるための総合施設。

育む、育まれるすべての人の施設『育舎』を、優しさが伝わるよう『いくしあ』としました。



### 子どもファースト

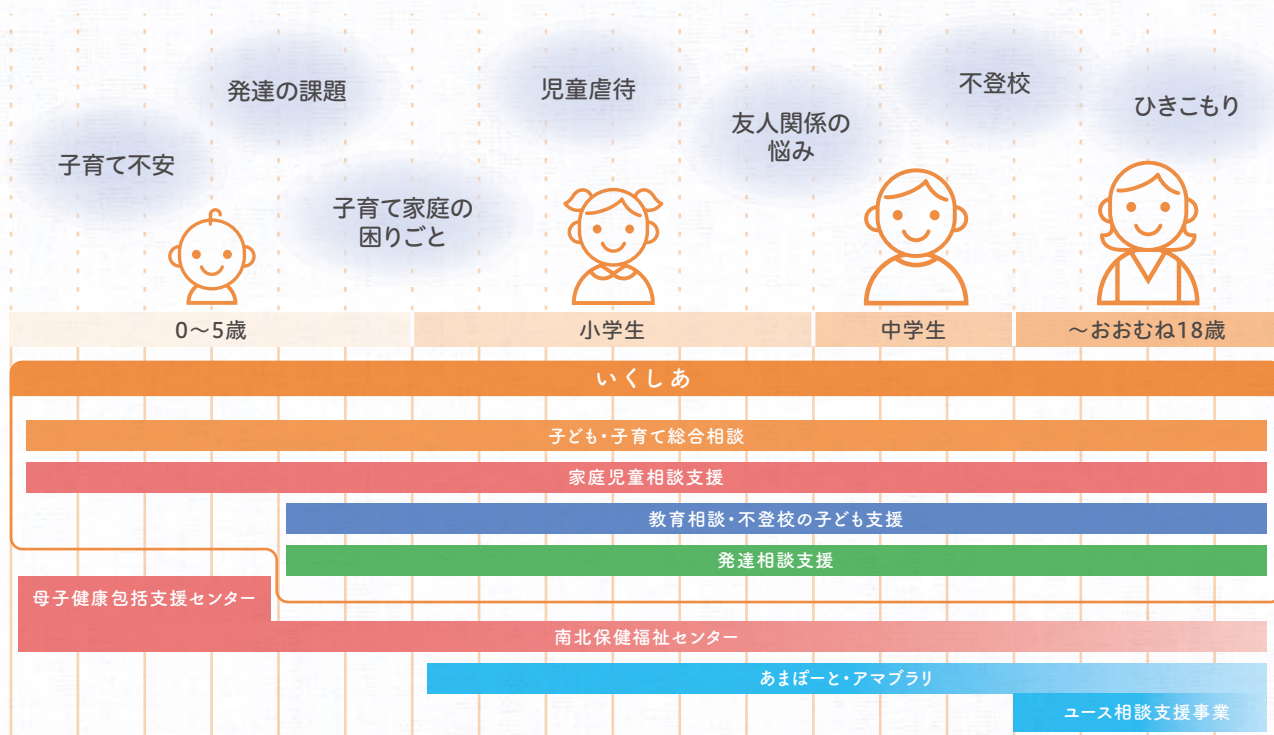
0歳からおおむね18歳の子どもが主体となる支援

### 縦の連携

子どもの年齢に応じた切れ目なく継続的な支援

### 横の連携

福祉、保健、教育などが連携した総合的な支援



※18歳以降も必要に応じて、適切な支援につなげます。

### 背景

- 子どもの教育に関する悩みや、子育てに不安を感じる保護者の割合が高い
- 子どもや子育て家庭を取り巻く状況が多様化、複雑化、深刻化

児童虐待の相談件数の増加

いじめ、不登校、集団不適応に悩む子どもの増加

発達障害やその疑いのある子どもの増加

- 単独機関での対応・解決が困難なケースが増加し、年齢の切れ目のない総合的な支援ができていない。

♥ 児童専門のケースワーカーや医師などの専門職を配置し、寄り添い支援を担う

♥ 組織分野にとらわれず幅広い相談に対応し、支援歴の情報を一元的に管理する

♥ 不登校の児童生徒など、多様な状況をサポートし、学校とともに課題に対応する

♥ 発達の不安などについての相談に対応し、心理検査や診察を通して支援につなぐ※

♥ さまざまな関係機関、民間団体と協力・連携して支援を行う

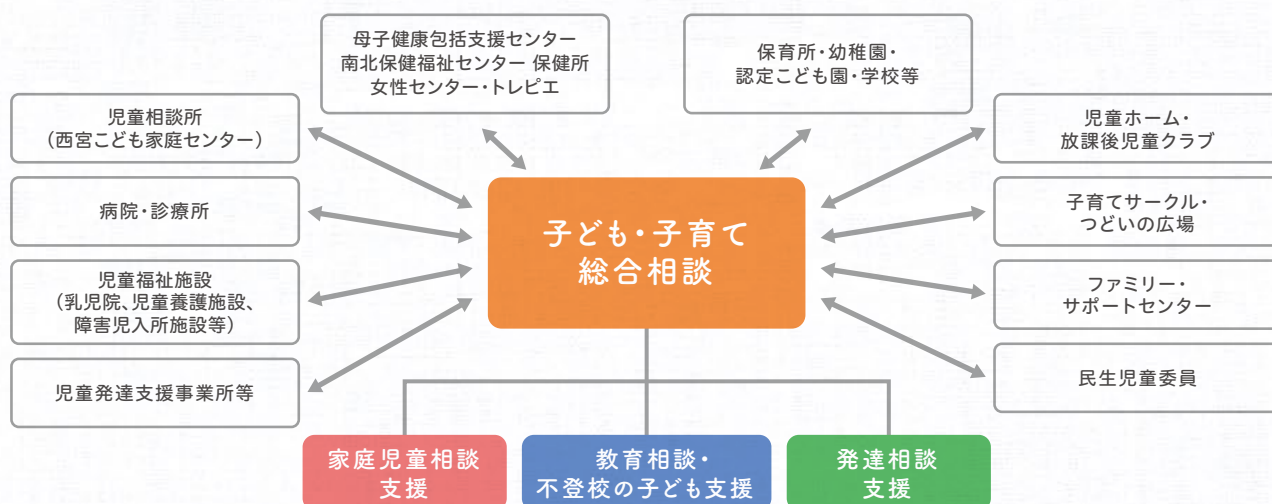
※いくしあでは、医師をはじめとした専門職が心理検査や診察などを通じて診立てを行い、子どもとの関わり方や方向性を一緒に考えます。継続的な治療や投薬、療育(障害福祉サービス等)は行いませんが、地域の医療機関等支援機関を紹介し、連携します。

## 「いくしあ」の支援機能

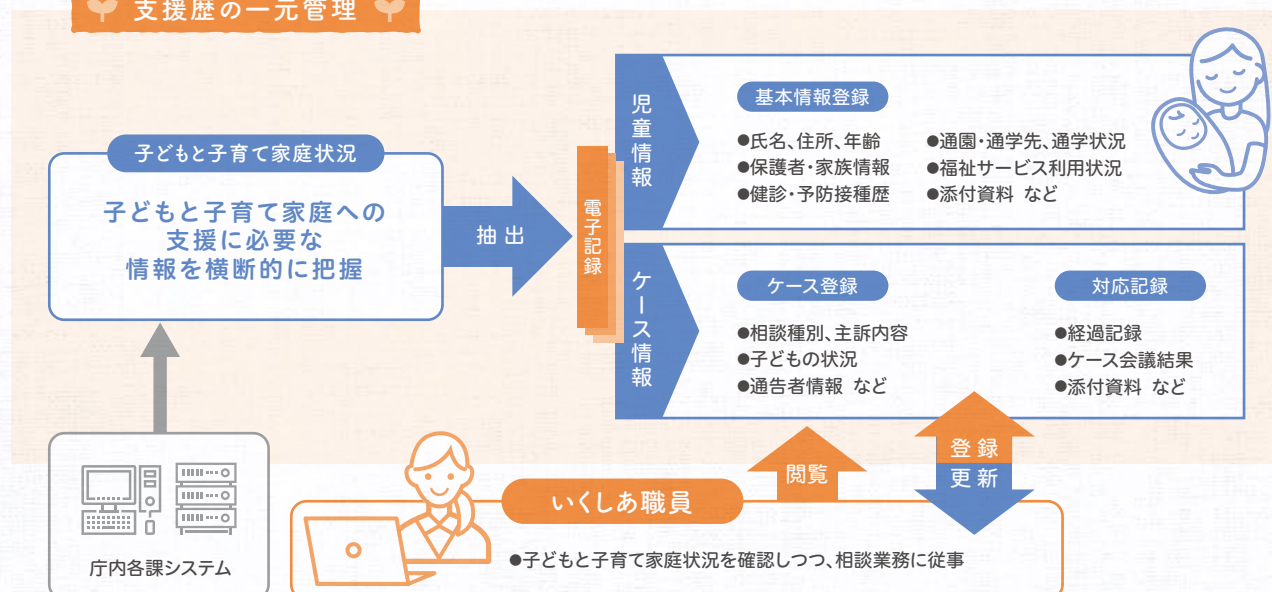
	主な職種
総合相談	児童専門のケースワーカー、心理士、精神保健福祉士、保育士、家庭児童相談員
家庭児童相談支援	児童専門のケースワーカー、事務、西宮こども家庭センター派遣
教育相談・不登校の子ども支援	指導主事、心理士、こども自立支援員、スクールソーシャルワーカー、事務
発達相談支援	医師、保健師、保育士、作業療法士、言語聴覚士、心理士、事務

## 総合相談と支援歴の一元管理

- 主にお悩みや心配ごとのある子どもや子育て家庭を対象とした総合相談窓口としつつ、身近な子育て相談も含め、幅広い相談に対応します。
- 専門の相談員が相談者のニーズを聞きとり、一緒に考え情報提供や助言、解決イメージを共有します。
- 一人ひとりの子どもの支援歴等の記録を一元的に把握する電子システムにより、迅速かつ適切な支援につなげます。電子システムの情報はセンシティブな重要情報としてセキュリティを厳重に管理します。



### 支援歴の一元管理





## 家庭児童相談支援

- 養育上の支援を必要とする子どもや子育て家庭の相談に対応します。
- 関係機関との連携により、できるだけ早期にハイリスク家庭を発見し、支援を実施します。
- 児童専門のケースワーカーがコーディネート役として調整を行い、支援の一体性、連続性を確保します。

### 県の児童相談所といくしあの機能分担のイメージ



養育上の支援を必要とする子どもや子育て家庭の早期発見・早期対応を行うことで、児童相談所の介入が必要なケースの減少につなげるとともに、一時保護・措置解除後の児童等の安定した生活を支援することで、児童相談所が適切な介入機能を発揮できるよう、寄り添い型の支援拠点として「子どもの育ち支援センター いくしあ」を位置づけます。

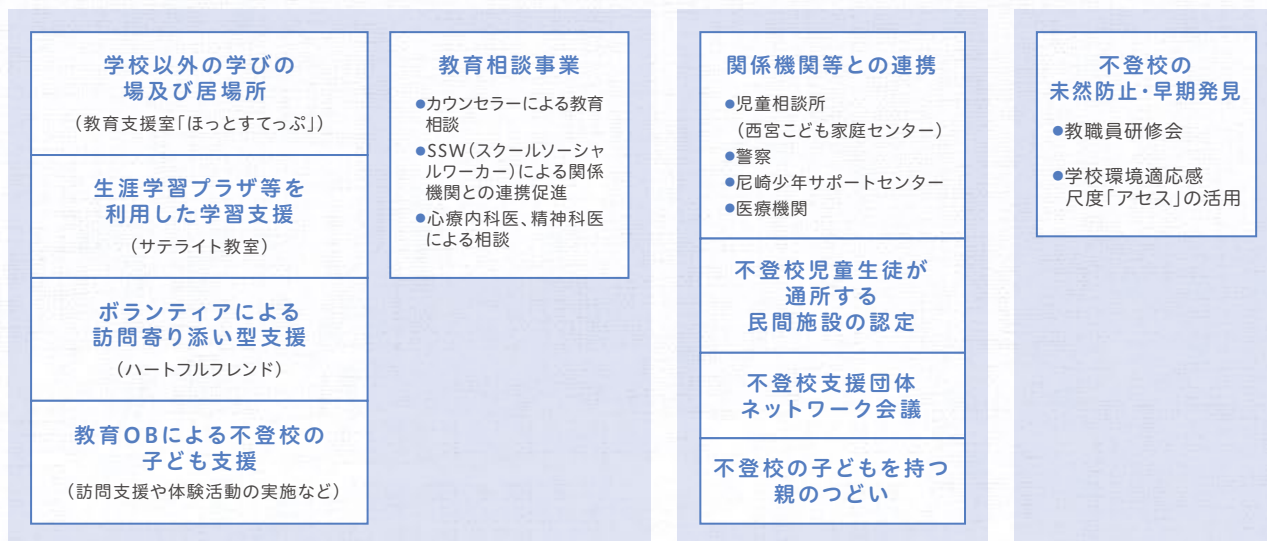


## 教育相談・不登校の子ども支援

- 学校園での教育や生活に関することについて、子ども本人、家族、幼稚園・学校の先生などからの教育相談を実施します。
- 不登校の子どもの居場所の設置やボランティアの訪問支援に取り組み、学校と連携した不登校の子どもへの支援を実施します。
- 指導主事（教育職）が中心となって、学校やいくしあ内の他の専門職員と連携し、子どもの状況に応じた支援を実施します。



### 不登校支援のイメージ



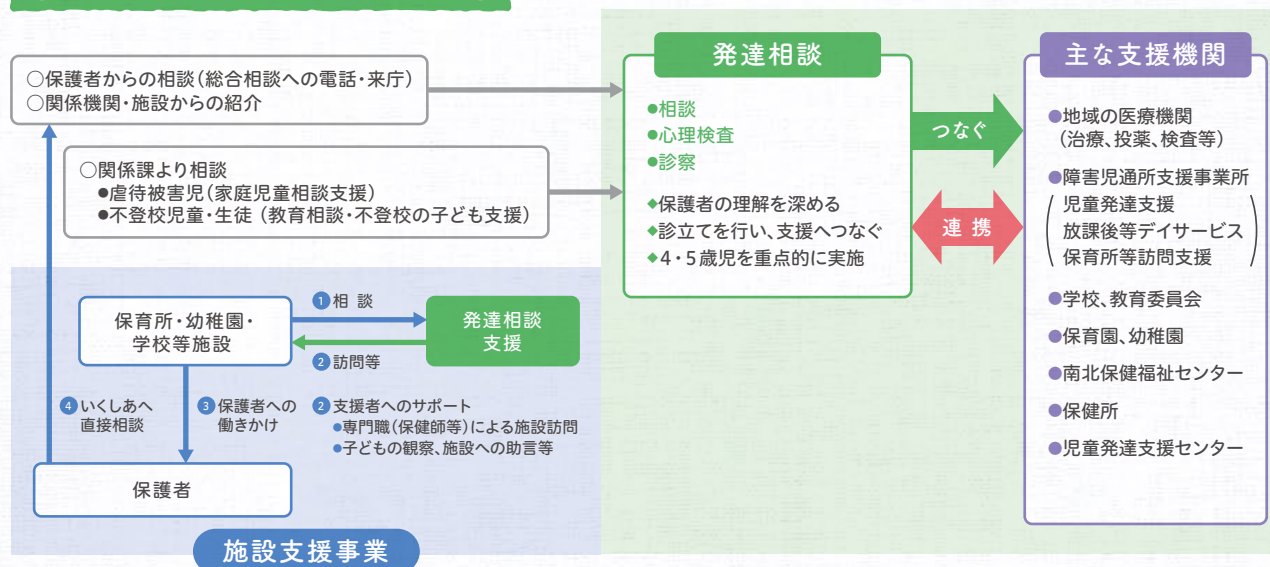
※ 中学校卒業後、引き続き支援が必要な場合も対応します。

## 発達相談支援

- 発達や行動での気になることや困りごとに、医師や保健師、心理士、保育士、作業療法士、言語聴覚士が相談に対応し、支援につなぎます。※
- 子どもの発達特性等に関する情報を、切れ目なく適切に引継ぎが行えるよう各施設との連携を図ります。



### 発達相談支援 事業相関図



※ 3歳以下の子どもは、南北保健福祉センター地域保健課や保健所健康増進課での乳幼児健診等の対応を基本として、連携していく。

※ いくしあでは、医師をはじめとした専門職が心理検査や診察などを通じて診立てを行い、子どもとの関わり方や方向性を一緒に考えます。

継続的な治療や投薬、療育(障害福祉サービス等)は行いませんが、地域の医療機関等支援機関を紹介し、連携します。



# 「いくしあ」フロア図・施設概要

1F

## 理解する・つながる

主に相談を受けるフロア

総合相談

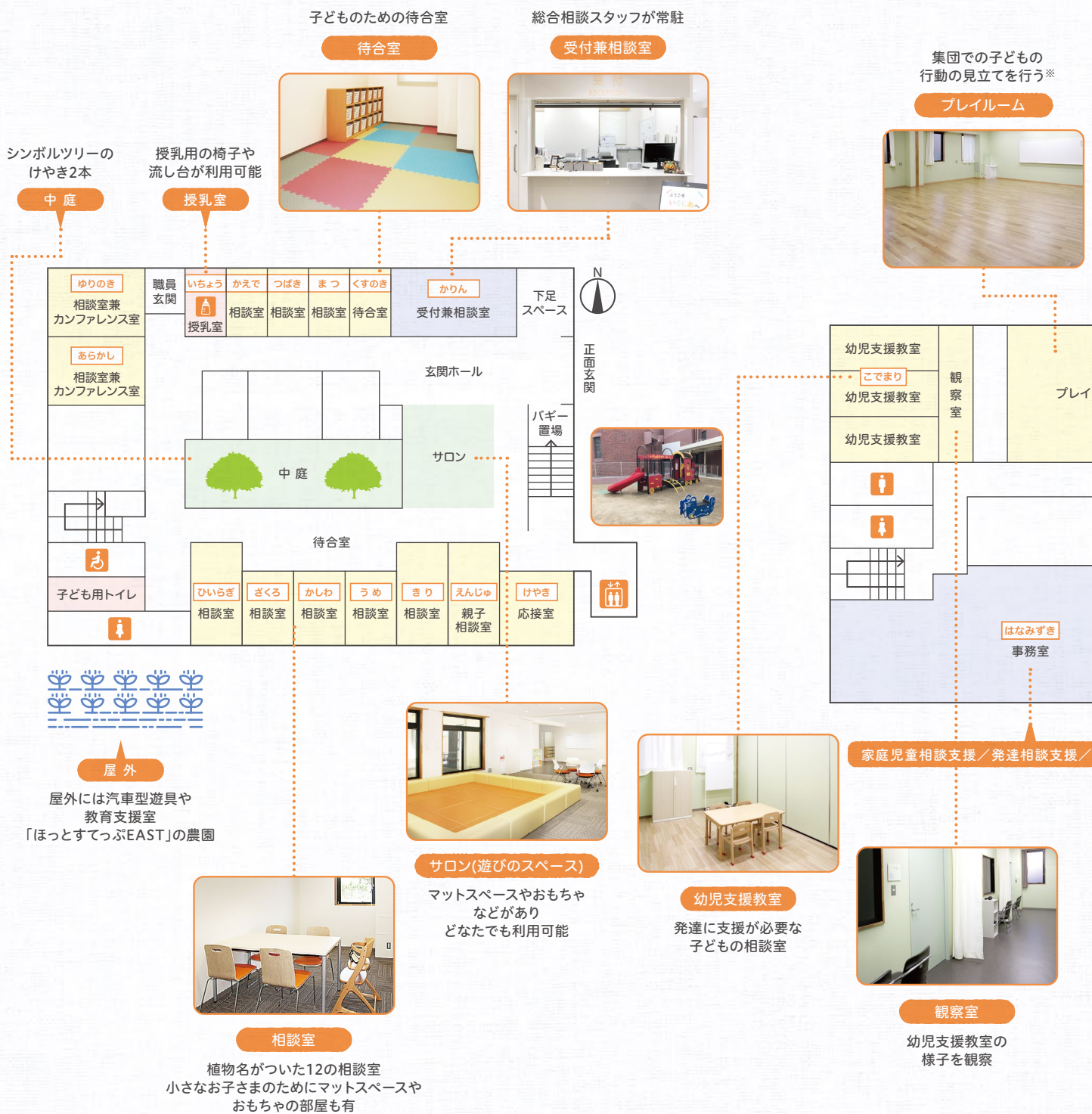


2F

## 活動する・

子どもが体を動か

発達相談支援



女子トイレ



男子トイレ



多機能トイレ



授乳室



エレベーター

※飲食可のスペースもあります。

※いくしあでは、医師をはじめとした専門職が心理検査や診察などを通じて診立てを行い、子どもとの関わり方や方向性を一緒に考えます。  
継続的な治療や投薬、療育(障害福祉サービス等)は行いませんが、地域の医療機関等支援機関を紹介し、連携します。

# ひろがる

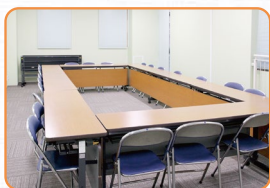
す・地域と交流するフロア

家庭児童相談支援  
〔児童虐待相談 通報〕〔養護相談〕



グループワークなどを開催

地域交流室



卓球などの活動に利用

活動室



# 発見する・はばたく

子どもの可能性を支えるフロア

教育相談・不登校の子ども支援



Wi-Fi環境が整った  
子どもの机・椅子を配置した教室

学習室



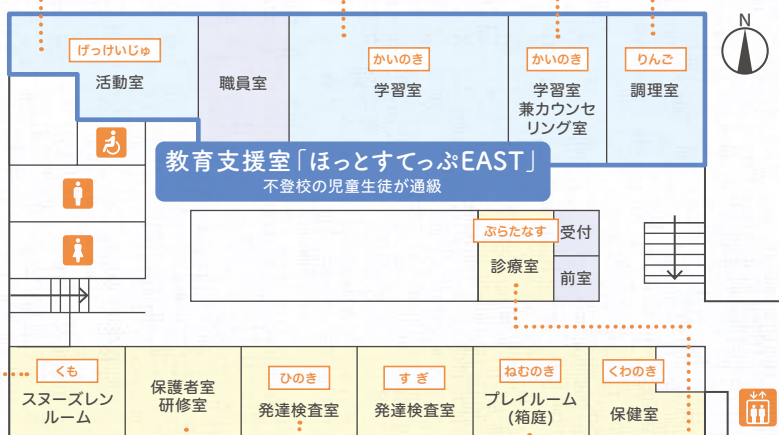
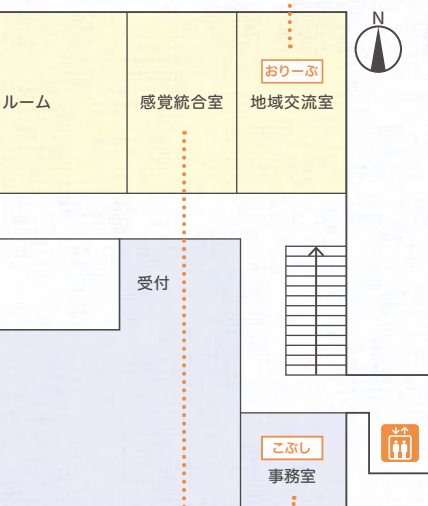
調理実習に利用

調理室



子どもの机・椅子を配置した  
自習しやすい学習室

学習室兼カウンセリング室

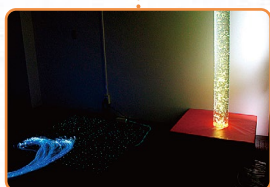


教育相談・不登校の子ども支援



感覚統合室

道具を使って体のイメージや  
使い方の見立てを行う※

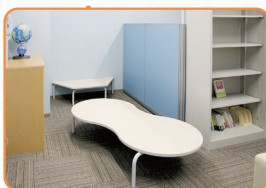


スヌーズレンルーム

バブルチューブなどを配置した  
感覚刺激空間※

発達検査室

心理士による発達検査



保護者室・研修室

保護者が待ち時間に  
学べる書籍を配置

ブレイルーム(箱庭)

箱庭療法などに利用※



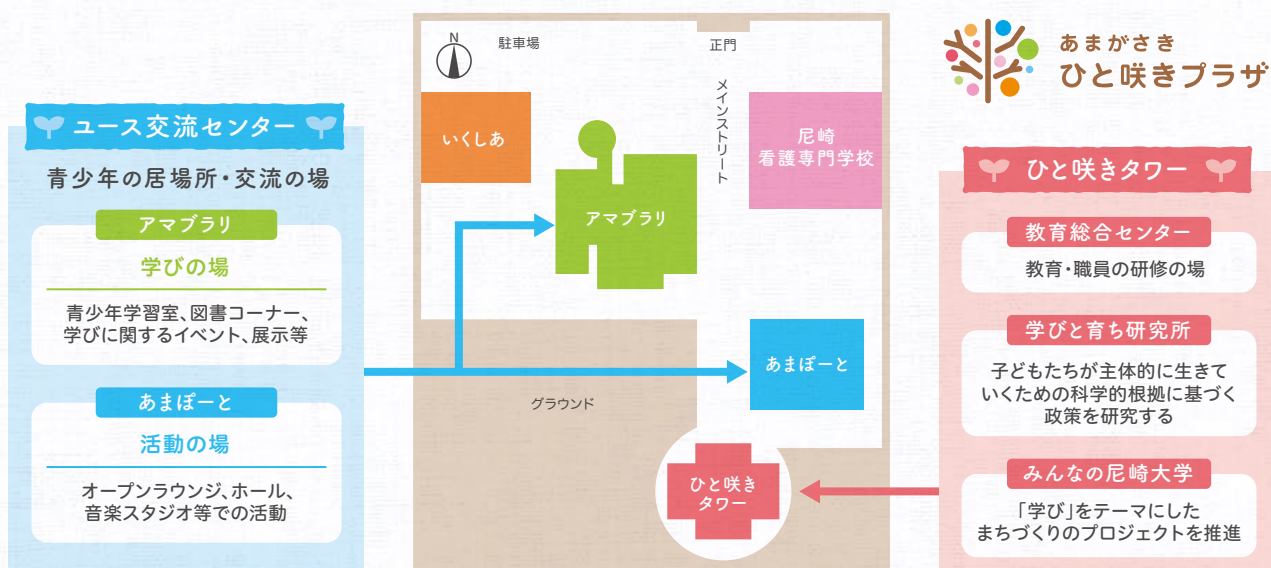
診療室

医師が診察を実施※





学びと育ちを支援する拠点として「子どもの育ちを支える機能」、「教員・職員の人材育成機能」、「市民の交流・学習機能」が有機的に連携します。



## ご相談はこちらへ

子どもや子育てで困ったら

**TEL.06-6430-9989**

月～金曜日(祝日・年末年始を除く) 午前9時～午後5時30分 FAX.06-6409-4297

連絡は匿名でも可能。秘密は守られます。

来所相談もできます。(予約不要)

— 24時間いつでも! 時間外はこちらへ —

児童相談所  
全国共通ダイヤル

189

24時間  
子供SOSダイヤル

0120-0-78310

## 子どもの育ち支援センター(愛称:いくしあ)

**所在地** 尼崎市若王寺2丁目18番6号  
あまがさき・ひと咲きプラザ内

**開館日** 月～金曜日(祝日・年末年始を除く)  
午前9時～午後5時30分

**アクセス** 徒歩: 阪急園田駅から約15分  
バス: 阪神バス[尼崎市内線11番] 阪急園田駅から約3分、  
JR尼崎駅から約12分、「百合学院」下車すぐ  
駐輪場・駐車場 有[無料]

